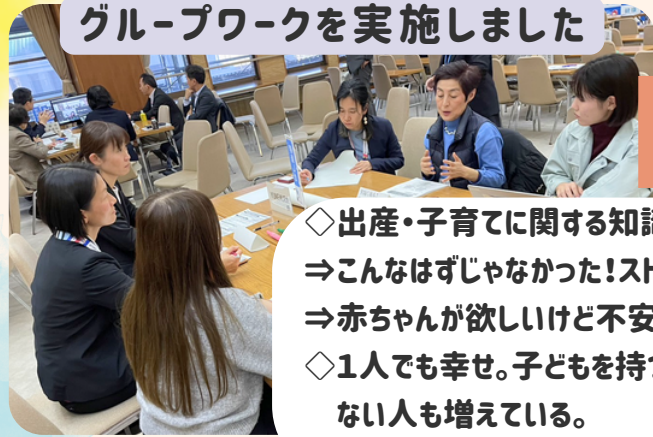


滋賀で「産みたい育てたい」まちづくり

～子育て世代のつながり～

第16回「健康しが」共創会議において

グループワークを実施しました



こんな支援がしたい！
必要！

- ◇ 出産・子育てに関する知識がない
⇒こんなはずじゃなかった！ストレス・・・
⇒赤ちゃんが欲しいけど不安・・・
- ◇ 1人でも幸せ。子どもを持つことを考えない人も増えている。
- ◇ 仕事と子育ての両立は難しい・・・

- ◇ 子どもを産める適齢期を逃さない正しい知識の普及
- ◇ 出産・子育ての魅力発信
- ◇ 女性がキャリアを積みながら子育てできる支援
- ◇ 安心して子育てできる環境
(保育園・病児保育・託児・一時預かり)
- ◇ 日常的な子育て支援・サポート
- ◇ 健康的な食の支援・サポート

今回さらに意見交換を重ねるため開催！

参加団体

ご提案者

さつき助産院
YUMEMURA

笑顔応援隊 i

山本舎
C4ONE Z世代変身企画
びわ子ん家
カイロプラクティック美癒館
木下レディースクリニック

滋賀医科大学

臨床看護学講座母性看護学・助産学
子ども・青少年局
みらいの農業振興課
女性活躍推進課
健康しが企画室

必要な支援や活動について意見交換

小・中学生の早い時期からの性教育が重要

- ・日本は、性教育に関するリテラシーが最下位に近い。大人になってから自分の体のこと、パートナーの体のことを知る。
- ・助産学生が出張の性教育をし、正しい知識を正しい時期に伝えている。親世代にも伝えられるとよい。
- ・学校や企業への講師派遣を事業化して進めていきたい。
- ・Z世代の発信力で正しい知識を広めたい。

出産に関する考察

- ・地域の中で小さい子どもと触れ合う機会が少ない。
- ・不妊治療においては、時間制限がどうしても出てくる中で、正しい知識を持つておくことが大事。
- ・10代には産婦人科は敷居が高い。産婦人科をもっと身近に感じてもらい、自分たちの味方、メンテナンスできる場となれば・・・
- ・産まない選択をした方も支えるまちづくりが大切。

子育て支援について

- 母親が定期的集まり、子育てについて話せる場
→ 悩み事を共有し、参加した母親どうし仲良くなれる。
- すべての母親が休める場
- 頑張りすぎなくてもいいと思えるような情報発信
→ 冷凍ストックなどの技・知識
→ 滋賀県産の食材を使用した離乳食もPRしたい。
- 滋賀マザーズジョブステーションをもっと活用してほしい。
→ 出産を考えている人、産後の人の就労支援、両立支援、相談などを実施
- 行政などが行う事業がそれぞれ縦割りで情報やサービスが一体的に届いてない。
- 女性だけでなく男性も育児を学べる場 → 不安の解消、育児に積極的に!
- 父親が子どもの行事に参加 → 母親への理解も深まり感謝も。



子育て支援、母親支援をしている様々な立場から活発な意見交換が
できました。このメンバーなら何かできるのでは!と期待も膨らみ・・・
継続してWTを開催していけたらと思います。